

部品交換要領書

室内ドア ラフォレスト E I 型・N-NYタイプ用

丁番セット

HHW18-002

2016年 9月発行



部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

作業にあたって

部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項



注意
重量物を扱うため、2人以上で作業を行ってください。
足場の不安定な場所などで作業を行わないでください。転倒により思わぬけがをするおそれがあります。

お願い

取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。
ドアの取りはずしや取り付け時は、必ずドアを支えて作業を行ってください。

同梱されているもの

丁番セット	取付ねじ	部品交換要領書
HH-WH05R(L) 上下丁番: 1セット	 ドア側丁番取り付け用: 8本 枠側丁番取り付け用: 8本	 本書 1枚

作業のために準備していただくもの

プラスドライバー	マイナスドライバー	木ハンマーなど	ダンボール等
 1本	 1本	 1本	

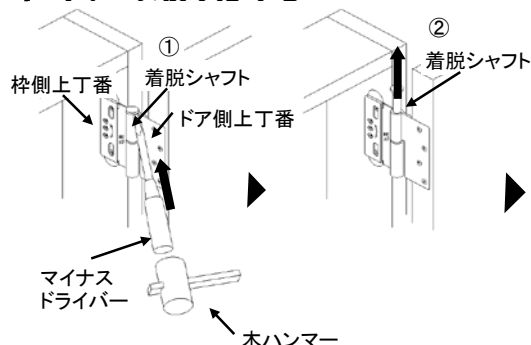
※部品が全てそろっていることを確認してください。

部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。
ドアを取りはずす時は、必ずドアを支えて作業を行ってください。

1 ドア側の取りはずし

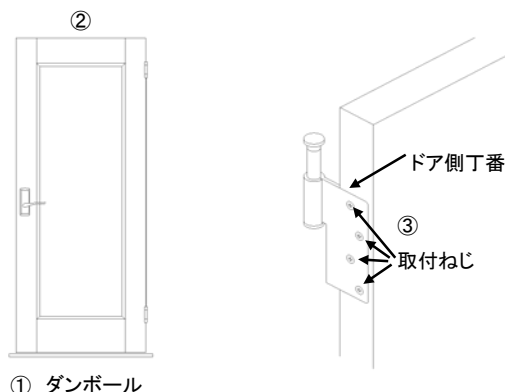


①マイナスドライバーを上丁番の切欠き部に差し込み、木ハンマーなどを使用して軽くたたく。
切欠き部拡大



②着脱シャフトを約4cm持ち上げる。
※着脱シャフトを持ち上げるとドアがはずれてきます。
しっかりとドアを支えてください。
ドアを支えずに着脱シャフトを持ち上げるとドアがはずれて危険です。ご注意ください。
③ドアを持ち上げ、取りはずす。

2 ドア側丁番の取りはずし



①床にダンボール等を敷く。
※ドアや床にキズをつけないように必ずドアの下にダンボール等を敷いてください。
②ダンボール等の上にドアを置く。
③プラスドライバーでドア側丁番の取付ねじをはずし、ドア側丁番をはずす。
※本図は上丁番で説明しています。

① ダンボール

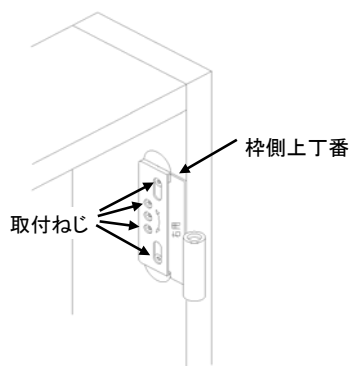
※部品の取り付け方は2・3・4ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。
ドアを取りはずす時は、必ずドアを支えて作業を行ってください。

3 枠側丁番の取りはずし



プラスドライバーで枠側丁番の取付ねじをはずし、
枠側丁番をはずす。
※本図は上丁番で説明しています。

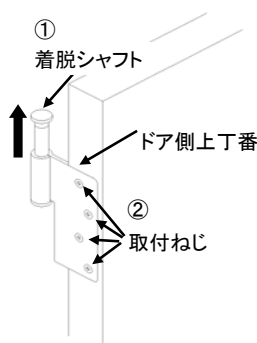
※部品の取り付け方は2・3・4ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

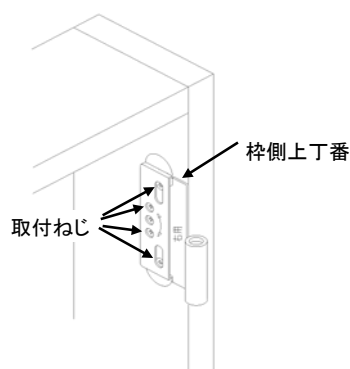
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。
ドアを取り付けるは、必ずドアを支えて作業を行ってください。

1 ドア側丁番の取り付け



- ①あらかじめドア側上丁番の着脱シャフトを約4cm持ち上げる。
※固い場合、マイナスドライバーを枠側上丁番の溝に差し込み、
木ハンマーなどを使用して軽くたたき、持ち上げてください。
- ②ドア側上丁番を取付穴に合わせ、プラスドライバーで取付ねじをしめる。
※左図は上丁番で説明しています。

2 枠側丁番の取り付け



枠側上丁番を取付穴に合わせ、プラスドライバーで取付ねじをしめる。
※左図は上丁番で説明しています。

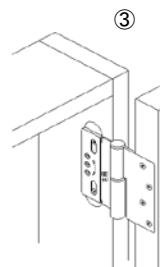
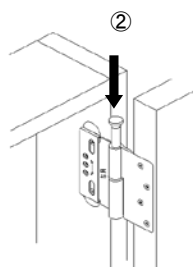
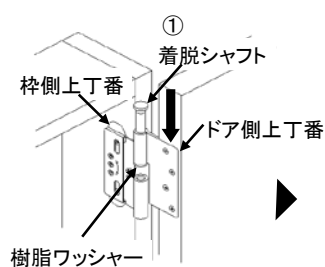
※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。
ドアを取り付けるは、必ずドアを支えて作業を行ってください。

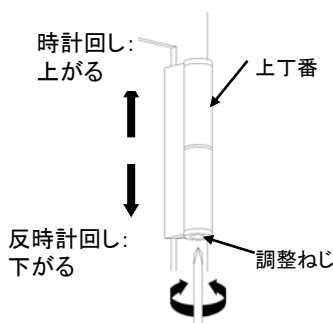
3 ドアに取り付け



- ① 枠側の上丁番管にドア側上丁番の樹脂ワッシャー部を差し込む。
※下の丁番から差し込むと比較的簡単です。
- ② 着脱シャフトを「カチッ」と音がするまで差し込む。
※差し込みが固い場合、木ハンマーなどを使用して軽くたたいてください。
- ③ ドアの開閉を確認する。

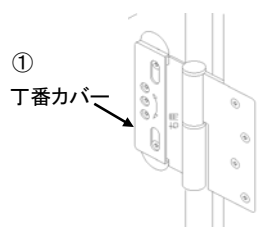
4 丁番での建付調整(三次元調整)

4-1 高さ調整



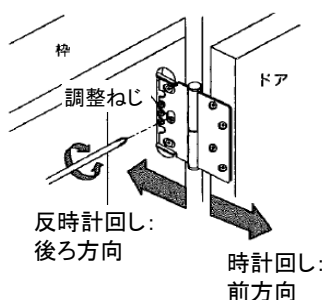
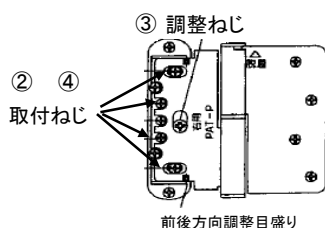
ドアの高さを調整する場合、プラスドライバーで上丁番の管下にある調整ねじをまわし、下記の通りに調整する。
・調整ねじを時計方向にまわすと、ドアは上がる。
・調整ねじを反時計方向にまわすと、ドアは下がる。
※ドア重量が重い場合、ドアを持ち上げると容易に調整することができます。
※調整範囲はそれぞれ2mmとなっています。
調整後、下丁番の調整ねじもやや固くなるまで時計方向にまわす。

4-2 前後調整



ドアの前後方向に調整する場合、下記の通りに調整する。

- ① マイナスドライバーで枠側丁番のカバーをはずす。
- ② プラスドライバーで丁番の取付ねじ4本をゆるめる。
- ③ プラスドライバーで調整ねじをまわす。
・調整ねじを時計方向にまわすと、ドアは前方向に動く。
・調整ねじを反時計方向にまわすと、ドアは後ろ方向に動く。
※調整範囲はそれぞれ2mmとなっています。
- ④ 調整後、取付ねじをしめる。



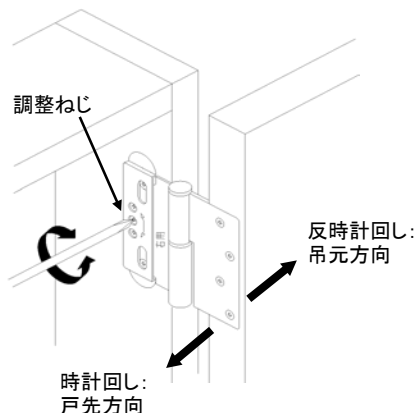
※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。
ドアを取り付けるは、必ずドアを支えて作業を行ってください。

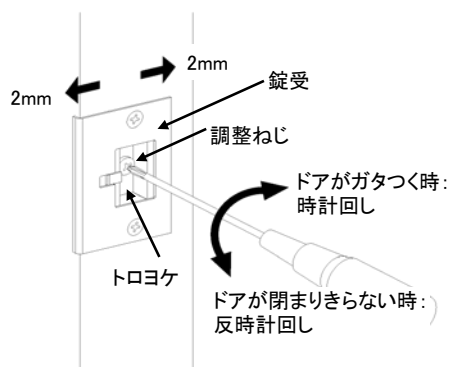
4-3 左右調整



ドアを左右方向に調整する場合、プラスドライバーで中央奥の調整ねじをまわし、下記の通りに調整する。

- ・調整ねじを時計方向にまわすと、ドアは戸先方向に動く。
 - ・調整ねじを反時計方向にまわすと、ドアは吊元方向に動く。
- ※調整範囲はそれぞれ2mmとなっています。

5 錠受の調整



錠のかかりが悪い場合、プラスドライバーでトリョケ中央部の調整ねじを回し、下記の通り調整する。

- ・ドアがガタつく時、トリョケ中央部の調整ねじを時計方向にまわすと、錠受は右側に移動する。
 - ・ドアが閉まりきらない時、トリョケ中央部の調整ねじを反時計方向にまわすと、錠受は左側に移動する。
- ※調整範囲はそれぞれ2mmとなっています。

部品の交換後のチェック



- ① 部品にガタつきがないことを確認してください。
- ② 取付ねじの締めつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ ドアを開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。
- ④ ハンドルを動かし、施解錠ができることを確認してください。

※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。